

軒下は危険がいっぱい！

～屋根からの落雪に注意を～

3月に入ると、気温は日増しに高くなって、春の気配を感じて来ますが、気温が高くなると、多雪地ではなだれによる災害に注意が必要です。

大量の雪が山の斜面を急激に崩れ落ちる現象が「なだれ」で、気象台では、上川・留萌地方で、24時間の降雪の深さが30cm以上、または、積雪の深さが50cm以上で日平均気温が5℃以上となることを予想した場合に、「なだれ注意報」を發表します。

なだれには、「表層なだれ」と「全層なだれ」の二つがあります。

「表層なだれ」は、積雪のある斜面にたくさんの雪が積もった後に起きやすいなだれで、既に積もっている雪と新しく積もった雪の間に境目が出来て、新しく積もった雪だけが滑り落ちるように崩れる現象です。注意報の發表基準では、24時間で30cm以上がこれにあたります。

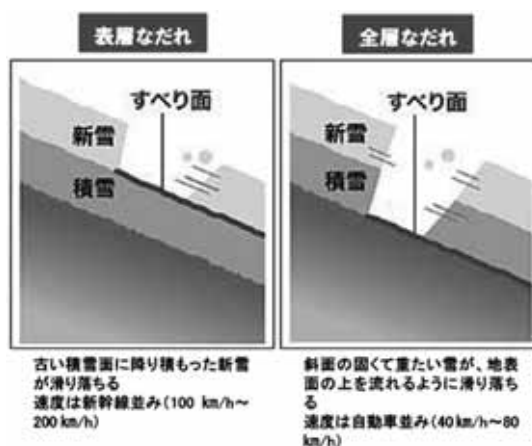


「全層なだれ」は、斜面に積もっている雪全体が崩れ落ちる現象です。これは、積雪と地面との間に雪解け水が入ったり、隙間が出来て地面と雪が離れて、積もっている雪がすべて崩れ落ちるものです。注意報の發表基準では、日平均気温5℃以上がこれにあたります。

スキーや登山では、気象条件に十分に注意するとともに、地元の人が長年の経験から設定する危険地帯には絶対に立ち入らないことが重要です。

また、なだれ注意報の対象ではありませんが、気温がプラスと氷点下を繰り返すこの時期は、大量に積もった重い雪が緩んで一気に落ちやすくなり、屋根からの落雪による事故が多く発生します。積もっている雪の量が多いほど、より高い気温になってから落ちる傾向があり、屋根に大量の雪がある状態で気温が上昇すると、落雪事故の危険性が急速に高まります。

最新の気象情報を入手して、気温の変化に注意するとともに、軒下での事故にあわないように気を付けてください。



(出典：政府広報オンラインHP)



屋根の雪下ろしをするときは、
必ず2人以上で実施しよう！



◎問い合わせ先

旭川地方気象台 ☎ 0166-32-7102

HP <http://www.jma-net.go.jp/asahikawa/>

